



サルコイドーシスの治療と予後に関する後ろ向き観察研究

2010年1月1日から2024年3月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科受診歴のあるサルコイドーシスの20歳以上の患者さん

研究協力をお願い

当科では「サルコイドーシスの治療と予後に関する後ろ向き観察研究」を行います。この研究は、2010年1月1日より2024年3月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科受診歴のあるサルコイドーシス患者さんの検査所見や予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施されます。本研究は倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：サルコイドーシスの治療と予後に関する後ろ向き観察研究
研究期間：研究実施許可日～2028年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 淀川 顕司

(2) 研究の意義、目的について

サルコイドーシスは原因不明の難病であり、いまだその経過や予後は不明な点が多く存在します。また心病変を合併すると予後が悪化しますがその危険因子はまだよくわかっておりません。本研究によりサルコイドーシスの経過や予後が明らかになり、心病変発症の危険因子が判明すればサルコイドーシス患者さんにとって有益な情報となります。研究の目的はサルコイドーシス患者さんのカルテデータに基づいた後ろ向きデータの収集調査から、肺病変・心病変の詳細および治療内容と予後との関連性について検討することです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2010年1月1日から2024年3月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科受診歴のあるサルコイドーシスと診断された患者さんを抽出します。抽出された患者さんを対象に患者さんの情報、検査所見、治療内容などを調査する研究を行います。

収集する試料・情報は以下の通りです。

試料：なし

情報：初診時の患者背景（年齢、性別、体重、現病歴、自覚症状、心拍数、血圧、酸素飽和度、体温、胸部CT、胸部X線写真、気管支鏡、心電図、ホルター心電図、心エコー所見、血液検査所見等）、その後の臨床イベント（生命予後、呼吸不全、入院、致死性不整脈・心不全発症・心機能低下・心伝導障害進行等）

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 講師 淀川顕司
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24013
メールアドレス：yodo@nms.ac.jp